



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年8月4日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 4528 URL <http://www.ono.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相良 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 谷 幸雄 (TEL) (06) 6263-5670  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	35,696	12.2	11,674	320.4	13,208	233.7	9,481	220.7	9,453	225.0	12,382	44.7
27年3月期第1四半期	31,808	△14.7	2,777	△72.6	3,958	△65.5	2,956	△63.2	2,908	△63.6	8,555	1.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	89.17	—
27年3月期第1四半期	27.43	—

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	527,832	478,045	473,360	89.7
27年3月期	524,588	475,213	470,575	89.7

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,100	2.8	7,500	147.8	8,800	87.4	6,300	87.2	6,200	89.0	58.49
通期	135,100	△0.5	14,000	△5.4	16,500	△9.9	11,800	△10.7	11,600	△10.6	109.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	117,847,500株	27年3月期	117,847,500株
28年3月期1Q	11,840,265株	27年3月期	11,839,742株
28年3月期1Q	106,007,458株	27年3月期1Q	106,010,725株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(報告企業) .....	11
(要約四半期連結財務諸表の基礎) .....	11
(重要な会計方針) .....	11
(重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断) .....	11
(配当) .....	12
(1株当たり利益) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) 主な製品の売上収益と予想 .....	13
(2) 製品商品売上収益の地域別内訳およびロイヤルティ・その他の営業収益 .....	13
(3) 退職給付制度の改定の影響を除いた 2016年3月期第1四半期連結累計期間の業績 .....	14
(4) 開発品(ON0-4538を除く)の主な進捗状況 .....	15
(5) 開発品(ON0-4538など)の主な進捗状況 .....	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（2015年4月～6月）における業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2015年3月期 第1四半期連結累計期間	2016年3月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上収益	31,808	35,696	3,888	12.2%
営業利益	2,777	11,674	8,897	320.4%
税引前四半期利益	3,958	13,208	9,250	233.7%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	2,908	9,453	6,545	225.0%

## [売上収益]

売上収益は前年同期比39億円（12.2%）増加の357億円となりました。

- ・長期収載品が競合品や後発品使用促進策の影響を受けて減少となったものの、主要新製品についてはおおむね順調に伸長しました。
- ・主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は82億円（前年同期比 4.8%増）、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は29億円（同比 32.3%増）、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」、「プロイメンド点滴静注用」は合わせて24億円（同比 21.9%増）、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は20億円（同比 32.4%増）、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は18億円（同比 246.8%増）となりました。

なお、昨年9月に抗PD-1抗体として世界に先駆けて発売しました抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は14億円、昨年5月に発売しました2型糖尿病治療剤「フォシーガ錠」は8億円（前年同期比 35.1%減）となりました。

- ・主な長期収載品では、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は62億円（前年同期比 4.1%減）、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は22億円（同比 10.6%減）、慢性膵炎・術後逆流性食道炎治療剤「フオイパン錠」は15億円（同比 12.2%減）となりました。

## [営業利益]

営業利益は前年同期比89億円（320.4%）増加の117億円となりました。

- ・当第1四半期において、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響で人件費が63億円減少したことが、営業利益の増加要因となっております。
- ・売上原価は前年同期比9億円（11.2%）増加の92億円となりました。
- ・研究開発費は、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響もあり、前年同期比14億円（14.9%）減少の78億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響や前年同期に発生した「フォシーガ錠」の新発売に伴う営業活動費用が減少したことなどにより、前年同期比46億円（40.1%）減少の68億円となりました。

## [四半期利益]（親会社所有者帰属）

四半期利益は、税引前四半期利益の増加にともない、前年同期比65億円（225.0%）増加の95億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本およびキャッシュ・フローの状況に関する分析)

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	2015年3月期 連結会計年度末	2016年3月期 第1四半期連結会計期間末	増減額
資産合計	524,588	527,832	3,244
親会社所有者帰属持分	470,575	473,360	2,784
親会社所有者帰属持分比率	89.7%	89.7%	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	4,439.07円	4,465.36円	

資産合計は前期末に比べ32億円増加の5,278億円となりました。

流動資産は、現金及び現金同等物や有価証券の減少などがあったものの、売上債権及びその他の債権の増加などから18億円増加の1,997億円となりました。

非流動資産は投資有価証券の減少などがあったものの、有形固定資産の増加などから14億円増加の3,281億円となりました。

負債は退職給付に係る負債の減少などがあったものの、仕入債務及びその他の債務の増加などから4億円増加の498億円となりました。

親会社所有者帰属持分は剰余金の配当による利益剰余金の減少などがあったものの、その他の資本の構成要素の増加があったことから28億円増加の4,734億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	2015年3月期 第1四半期連結累計期間	2016年3月期 第1四半期連結累計期間	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	104,898	104,222	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△800	△1,891	△1,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,391	9,358	13,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,602	△8,579	23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,793	△1,113	
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	12	69	
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,117	103,178	

当第1四半期の現金及び現金同等物の増減額は、11億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益132億円、減価償却費及び償却費16億円などがあった一方で、法人所得税等の支払額67億円、退職給付に係る負債の減少額62億円、売上債権及びその他の債権の増加額49億円などがあった結果、19億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資の売却及び償還による収入から94億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額から86億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、2015年5月12日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,222	103,178
売上債権及びその他の債権	41,960	46,876
有価証券	22,746	20,951
その他の金融資産	820	901
棚卸資産	25,805	25,796
その他の流動資産	2,311	2,010
流動資産合計	197,865	199,712
非流動資産		
有形固定資産	70,754	74,102
無形資産	33,913	33,622
投資有価証券	212,162	210,035
持分法で会計処理 されている投資	1,023	1,011
その他の金融資産	6,314	6,392
繰延税金資産	45	46
退職給付に係る資産	—	456
その他の非流動資産	2,512	2,457
非流動資産合計	326,723	328,121
資産合計	524,588	527,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	13,745	17,167
借入金	287	297
その他の金融負債	2,585	3,825
未払法人所得税	6,587	4,145
引当金	684	743
その他の流動負債	11,109	12,153
流動負債合計	34,997	38,330
非流動負債		
借入金	317	341
その他の金融負債	21	21
退職給付に係る負債	5,426	1,941
引当金	89	92
繰延税金負債	1,156	1,912
長期前受収益	6,724	6,548
その他の非流動負債	645	602
非流動負債合計	14,378	11,458
負債合計	49,375	49,788
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,080	17,080
自己株式	△59,308	△59,315
その他の資本の構成要素	45,756	49,503
利益剰余金	449,690	448,734
親会社の所有者に 帰属する持分	470,575	473,360
非支配持分	4,638	4,685
資本合計	475,213	478,045
負債及び資本合計	524,588	527,832



## (2) 要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上収益	31,808	35,696
売上原価	△8,301	△9,227
売上総利益	23,507	26,468
販売費及び一般管理費	△11,412	△6,832
研究開発費	△9,209	△7,835
その他の収益	28	36
その他の費用	△136	△164
営業利益	2,777	11,674
金融収益	1,284	1,779
金融費用	△115	△235
持分法による投資損益	13	△9
税引前四半期利益	3,958	13,208
法人所得税	△1,002	△3,727
四半期利益	2,956	9,481
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	2,908	9,453
非支配持分	48	28
四半期利益	2,956	9,481
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.43	89.17
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期利益	2,956	9,481
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	5,678	4,300
確定給付制度の再測定	△28	△1,559
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△11	△1
純損益に振り替えられることのない 項目合計	5,639	2,740
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△27	143
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	△13	19
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△40	162
その他の包括利益合計	5,599	2,901
四半期包括利益合計	8,555	12,382
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	8,514	12,332
非支配持分	41	50
四半期包括利益合計	8,555	12,382

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
2014年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,274	15,626	456,537	447,327	4,397	451,724
四半期利益					2,908	2,908	48	2,956
その他の包括利益				5,605		5,605	△6	5,599
四半期包括利益合計	—	—	—	5,605	2,908	8,514	41	8,555
自己株式の取得			△3			△3		△3
剰余金の配当					△9,541	△9,541	△4	△9,545
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				28	△28	—		—
所有者との取引額等合計	—	—	△3	28	△9,569	△9,544	△4	△9,548
2014年6月30日現在残高	17,358	17,080	△59,278	21,259	449,877	446,296	4,434	450,730

当第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
2015年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,308	45,756	449,690	470,575	4,638	475,213
四半期利益					9,453	9,453	28	9,481
その他の包括利益				2,879		2,879	22	2,901
四半期包括利益合計	—	—	—	2,879	9,453	12,332	50	12,382
自己株式の取得			△7			△7		△7
剰余金の配当					△9,541	△9,541	△3	△9,544
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				868	△868	—		—
所有者との取引額等合計	—	—	△7	868	△10,409	△9,547	△3	△9,550
2015年6月30日現在残高	17,358	17,080	△59,315	49,503	448,734	473,360	4,685	478,045

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	3,958	13,208
減価償却費及び償却費	1,487	1,610
受取利息及び受取配当金	△1,282	△1,448
支払利息	4	3
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,022	8
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,733	△4,918
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,156	△162
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	139	△6,205
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	271	△34
長期前受収益の増減額(△は減少)	-	△175
その他	2,375	1,482
小計	2,353	3,369
利息の受取額	128	87
配当金の受取額	1,172	1,367
利息の支払額	△4	△3
法人所得税等の支払額	△4,450	△6,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	△800	△1,891
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,609	△566
無形資産の取得による支出	△8,777	△228
投資の売却及び償還による収入	6,120	10,179
その他	△124	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,391	9,358
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△8,490	△8,506
非支配持分への配当金の支払額	△4	△3
長期借入金の返済による支出	△128	△107
短期借入金の純増減額	23	43
自己株式の取得による支出	△3	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,602	△8,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,793	△1,113
現金及び現金同等物の期首残高	104,898	104,222
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	12	69
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,117	103,178

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

### (報告企業)

小野薬品工業株式会社(以下、当社)は日本国籍の株式会社であります。当社の登記している本社および主要な事業所の住所はホームページ(URL <http://www.ono.co.jp/>)で開示しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表は2015年6月30日を期末日とし、当社および子会社、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。当社グループは、医療用、一般用医薬品の製造・販売を行っております。

### (作成の基礎)

#### (1) 準拠する会計基準

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IFRSに準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表はIAS第34号に準拠して作成しており、年度の連結財務諸表で要求される全ての情報を含んでおりません。要約四半期連結財務諸表は、2015年3月31日に終了した前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

#### (2) 測定の基礎

要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定している金融商品などを除き、取得原価を基礎として作成しております。

#### (3) 機能通貨および表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈のない限り、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

### (重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

### (重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断)

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、収益および費用、資産および負債の測定に関する経営者の見積りおよび仮定を含んでおります。これらの見積りおよび仮定は過去の実績および四半期決算日において合理的であると考えられる様々な要因などを勘案した経営者の最善の判断に基づいております。しかし、その性質上、将来において、これらの見積りおよび仮定とは異なる結果となる可能性があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は経営者により継続して見直されております。これらの見積りおよび仮定の見直しによる影響は、その見積りおよび仮定を見直した期間およびそれ以降の期間において認識しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積りおよび仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

(配当)

(1) 配当金支払額

前第1四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2014年6月27日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2014年3月31日	2014年6月30日

当第1四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2015年6月26日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2015年3月31日	2015年6月29日

- (2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
 末日後となるもの

前第1四半期連結累計期間

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間

該当事項はありません。

(1株当たり利益)

- (1) 基本的1株当たり四半期利益は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
基本的1株当たり四半期利益	27.43円	89.17円

- (2) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	2,908百万円	9,453百万円
発行済普通株式の 加重平均株式数	106,010千株	106,007千株

なお、希薄化後1株当たり四半期利益については、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しており  
 ません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2016年3月期 第1四半期連結累計実績			2016年3月期 通期予想		
	累計 実績	前年同期比		通期 予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
グラクティブ錠	82	+4	+4.8%	320	+12	+4.0%
オパルモン錠	62	△3	△4.1%	225	△23	△9.4%
リカルボン錠	29	+7	+32.3%	110	+7	+7.0%
イメンド/プロイメンド	24	+4	+21.9%	95	+9	+10.5%
オノンカプセル	22	△3	△10.6%	90	△12	△12.1%
リバスタッチパッチ	20	+5	+32.4%	85	+17	+25.4%
オレンシア皮下注	18	+13	+246.8%	70	+29	+69.2%
フオイパン錠	15	△2	△12.2%	50	△11	△17.6%
オブジーボ点滴静注	14	(2014年9月発売)		35	+10	+38.3%
ステープラ錠	14	+2	+14.5%	45	△8	△14.5%
注射用オノアクト	14	+3	+31.7%	50	+3	+7.3%
オノンドライシロップ	13	△1	△4.6%	55	△3	△5.0%
キネダック錠	12	△2	△16.3%	45	△3	△5.9%
フォシーガ錠	8	△4	△35.1%	75	+60	+386.6%
注射用エラスポール	5	△2	△23.2%	20	△7	△25.3%

(注) 仕切価格(出荷価格)ベースで売上収益を開示しております。

(2) 製品商品売上収益の地域別内訳およびロイヤルティ・その他の営業収益

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
製品商品売上収益		
日本	308	332
欧州	1	1
アジア	4	5
その他	—	0
小計	313	337
ロイヤルティ・その他の営業収益	5	20
合計	318	357

(注) 製品商品売上収益は販売仕向先の所在地によっております。

(3) 退職給付制度の改定の影響を除いた2016年3月期第1四半期連結累計期間の業績

2015年4月に退職給付制度の改定に関する労使の合意がなされたため、当第1四半期連結累計期間において、改定後の退職給付制度に基づく退職給付債務の数理計算および過去勤務費用の算定を行いました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響で人件費が減少したことから、営業利益が63億円増加しております。この影響を除いた当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

(単位：億円)

損益の状況	2015年3月期 第1四半期 連結累計期間	2016年3月期 第1四半期 連結累計期間		2016年3月期 第1四半期 連結累計期間	
	実績	実績	前年 同期比 (%)	退職給付制度の 改定の影響を 除いた場合の業績	前年 同期比 (%)
売上収益	318	357	12.2%	357	12.2%
売上原価	83	92	11.2%	97	16.3%
売上総利益	235	265	12.6%	260	10.8%
販売費及び一般管理費	114	68	△40.1%	105	△8.2%
研究開発費	92	78	△14.9%	101	9.2%
営業利益	28	117	320.4%	54	93.6%
税引前四半期利益	40	132	233.7%	69	74.6%
法人所得税	10	37	271.9%	19	92.1%
四半期利益	30	95	220.7%	50	68.7%
うち、親会社の所有者に 帰属する当期利益	29	95	225.0%	50	70.5%



(4) 開発品 (ONO-4538を除く) の主な進捗状況

平成27年8月4日現在

1. 国内開発品状況

<申請中開発品>

製品名/開発コード	区分	予定効能/薬理作用	剤型	自社*/導入
リバスタッチパッチ (ONO-2540) /ENA713D	用法変更	アルツハイマー型認知症 /コリンエステラーゼ阻害作用	経皮 吸収剤	導入 (ノバルティス社)
プロイメンド点滴静注用 <sup>*1</sup> (ONO-7847) /MK-0517	小児での 効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 /ニューロキニン1受容体拮抗作用	注射	導入 (米メルク社)

平成27年3月期決算発表 (5月12日) 時点からの変更点

※1:ニューロキニン1受容体拮抗薬「プロイメンド点滴静注用」は、小児での抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐の効能追加に関する承認申請を行いました。

<臨床試験中開発品>

製品名/開発コード /一般名	区分	予定効能/薬理作用	剤型	フェーズ	自社*/導入
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	若年性特発性関節炎 /T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	ループス腎炎 /T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-7057 /カルフィルゾミブ	新有効成分	多発性骨髄腫 /プロテアソーム阻害作用	注射	Ⅲ	導入 (オニキス社)
ONO-5163 /AMG-416	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 /カルシウム受容体作動作用	注射	Ⅲ	導入 (アムジェン社)
オノアクト点滴静注用 50mg/150mg (ONO-1101)	小児での 効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 /β <sub>1</sub> 遮断作用 (短時間作用型)	注射	Ⅱ/Ⅲ	自社
オノアクト点滴静注用 <sup>*2</sup> 50mg/150mg (ONO-1101)	効能追加	心室性不整脈 /β <sub>1</sub> 遮断作用 (短時間作用型)	注射	Ⅱ/Ⅲ	自社
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質/グレリン様作用	錠	Ⅱ	導入 (ヘルシン社)
ONO-1162 /Ivabradine	新有効成分	慢性心不全/I f チャネル阻害作用	錠	Ⅱ	導入 (セルヴィエ社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 /ロイコトリエン受容体拮抗作用	錠	Ⅱ	自社
ONO-5371 <sup>*3</sup> /Metyrosine	新有効成分	褐色細胞腫/チロシン水酸化酵素阻害作用	カプセル	I/Ⅱ	導入 (バリアント社)
ONO-7056 /Salirasib	新有効成分	固形がん/Rasシグナル阻害作用	錠	I	導入 (カドモン社)
ONO-7268MX1	新有効成分	肝細胞がん/ペプチドワクチン	注射	I	導入 (オンコセラピー・サイエンス株式会社)
ONO-7268MX2	新有効成分	肝細胞がん/ペプチドワクチン	注射	I	導入 (オンコセラピー・サイエンス株式会社)

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社 <sup>*)</sup> ／導入
ONO-2160／CD	新有効成分	パーキンソン病 ／レボドパブロドッグ	錠	I	自社
ONO-2370 ／Opicapone	新有効成分	パーキンソン病 ／長時間作用型COMT阻害作用	錠	I	導入 (ビアル社)
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	カプセル	I	自社

平成27年3月期決算発表(5月12日)時点からの変更点

※2:  $\beta$ 遮断薬(短時間作用型)「オノアクト点滴静注用50mg/150mg」は、心室性不整脈を対象としたフェーズⅡ/Ⅲ相試験を開始しました。

※3: チロシン水酸化酵素阻害剤「ONO-5371/Metyrosine」は、褐色細胞腫を対象としたフェーズⅠ/Ⅱ試験を開始しました。

※: プロスタグランディンD2受容体拮抗薬「ONO-4053」は、アレルギー性鼻炎を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、期待していた有効性を確認できなかったことから開発を中止しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しております。

2. 国外開発品状況

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社 <sup>*)</sup> ／導入
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	錠	II	米国	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	錠	II	米国	自社
ONO-9054	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランディン 受容体 (FP/EP3) 作動作用	点眼	II	米国	自社
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	カプセル	I	米国 欧州	自社
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランディン受容体 (EP2/EP3) 作動作用	錠	I	欧州	自社
ONO-1266	新有効成分	門脈圧亢進症／S1P受容体拮抗作用	カプセル	I	米国	自社
ONO-4232	新有効成分	急性心不全／プロスタグランディン受容体 (EP4) 作動作用	注射	I	米国	自社
ONO-4474	新有効成分	変形性関節症／Tropomyosin receptor kinase (Trk) 阻害作用	カプセル	I	欧州	自社

平成27年3月期決算発表(5月12日)時点からの変更点

※：プロスタグランディンD2受容体拮抗薬「ONO-4053」は、アレルギー性鼻炎を対象としたフェーズII試験を実施して  
おりましたが、期待していた有効性を確認できなかったことから開発を中止しました。

\*)：共同研究により創出された化合物を含む

なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載して  
おります。

(5) 開発品 (ONO-4538など) の主な進捗状況

平成27年8月4日現在

1. 日本、韓国、台湾の開発品状況 (ONO-4538を含むBMS提携化合物)

<承認取得開発品>

製品名/開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*</sup> /導入
ヤーボイ点滴静注	悪性黒色腫 <sup>*1</sup>	日本	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期決算発表 (5月12日) 時点からの変更点

※1: 「ヤーボイ点滴静注」は、日本において「病勢進行が認められた切除不能または転移性悪性黒色腫」を効能・効果とした製造販売承認を取得しました。

**\***: 共同研究により創出された化合物を含む

<申請中開発品>

製品名/開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*</sup> /導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	悪性黒色腫	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	非小細胞肺癌 <sup>*2</sup>	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期決算発表 (5月12日) 時点からの変更点

※2: 「オプジーボ点滴静注」は、日本、韓国において「非小細胞肺癌」を効能・効果とした製造販売承認申請を行いました。

**\***: 共同研究により創出された化合物を含む

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	フェーズ	地域	自社 <sup>*)</sup> / 導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) / BMS-936558	腎細胞がん	Ⅲ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	頭頸部がん	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	胃がん	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	尿路上皮がん <sup>※3</sup>	Ⅱ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	食道がん	Ⅱ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ホジキンリンパ腫	Ⅱ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	肝細胞がん	Ⅰ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	固形がん (モガムリズマブとの併用)	Ⅰ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と協和発酵キリン 株式会社との共同開発)

平成27年3月期決算発表（5月12日）時点からの変更点

※3: 「オプジーボ点滴静注」は、尿路上皮がんを対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

2. 欧米の開発品状況 (ONO-4538)

<承認取得開発品>

製品名／開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	悪性黒色腫 <sup>※1</sup>	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	非小細胞肺癌 <sup>※2</sup>	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期決算発表（5月12日）時点からの変更点

※1: 「オプジーボ点滴静注」は、欧州において「悪性黒色腫」を効能・効果とした製造販売承認を取得しました。

※2: 「オプジーボ点滴静注」は、欧州において「肺扁平上皮がん」を効能・効果とした製造販売承認を取得しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

<申請中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	非小細胞肺癌 <sup>※3</sup>	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期決算発表（5月12日）時点からの変更点

※3: 「オプジーボ点滴静注」は、欧州において「非扁平上皮非小細胞肺癌」を効能・効果とした製造販売承認申請を行いました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	フェーズ	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	腎細胞がん	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	頭頸部がん	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	膠芽腫	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	小細胞肺がん <sup>※4</sup>	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	濾胞性リンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ホジキンリンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	尿路上皮がん	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	大腸がん	I / Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	固形がん (トリプルネガティブ乳がん、 胃がん、膵がん、小細胞肺がん、尿路上 皮がん)	I / Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	肝細胞がん	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	血液がん (T細胞リンパ腫、多発性骨髄 腫、慢性白血病、他)	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	慢性骨髄性白血病	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
C型肝炎	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)	

平成27年3月期決算発表 (5月12日) 時点からの変更点

※4: ブリストル・マイヤーズ スクイブ社は、小細胞肺がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。